

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年4月22日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年4月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【雑固体廃棄物焼却設備(B)系の二次燃焼器覗き窓パージ用レギュレータからの空気漏れについて】 当直員のパトロールにより、雑固体廃棄物焼却設備(B)系の二次燃焼器覗き窓パージ(※1)用空気供給配管の途中に設けられている、レギュレータ(※2)のケースとボディの間から空気漏れを確認。 当直員により空気元弁を閉とし、空気漏れが止まったことを確認。 レギュレータのケースを取り外し状況を確認したところ、Oリングに破損を確認。 当該設備は現在点検停止中であることから、二次燃焼器覗き窓のパージは必要なし。 今後、当該Oリングの交換を実施予定。</p> <p>※1 パージ：空気を吹きかけること。それにより、覗き窓に着いた付着物を除去する。 ※2 レギュレータ：高圧の液体や気体を、必要とする一定の圧力へ下げて保持する減圧機能を有した弁。</p>	G III	4月18日
2	<p>【増設多核種除去設備炭酸ソーダ製造装置2の処理が出来ないことを知らせる表示について】 当直員が、免震重要棟集中監視室の監視盤に増設多核種除去設備炭酸ソーダ製造装置2の運転中にも係わらず、処理が出来ないことを知らせる表示が出ていることを確認したため、当該装置を停止。 今後、表示の発生原因を調査する。 水の浄化処理については、他の系統および既設多核種除去設備にて代替え運転が可能のため影響なし。</p>	G III	4月19日